必ずフォーマットしよう（DOS/V機、PC98-NXシリーズ）

DOS/V機およびPC98-NXシリーズで本製品を使用する場合のフォーマット（初期化）方法などを説明しています。

フォーマット時の注意

- OS付属のフォーマッタの使いかたは、OSのマニュアルで確認してください。
- 問題が発生したときやパソコンの環境設定を行うために、OSの起動ディスクを作成してください。作成方法は、各OSのマニュアルやヘルプを参照してください。
- フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。
  ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。
- 本書に記載している実行例は、あくまでも参考のためのものです。フォーマットするときは、必ず使用しているOSのマニュアルを参照してください。
- フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。
  フォーマットはお客様ご自身の責任で行うものです。誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、また、ドライブ名は何か必ず確認しておいてください。

OSによる制限

本書に記載されているハードディスク容量は、1GB＝1000^{3}byteで計算しています。OSやアプリケーションでは1GB＝1024^{3}byteで計算されているため、表示される容量が異なります

OS	制限事項
WindowsMe、Windows98、Windows95（4.00.950 B/4.00.950 C）	ファイルシステムにFAT32を選択できるので、2.1GBを超える容量の領域（パーティション）を作成できます。ただし、FDISK実行時にFAT16を選択した場合、1領域あたりの最大容量は2.1GBとなります。 ※大容量ディスクのサポートを使用した場合【P33】
Windows95（4.00.950/4.00.950a）	ファイルシステムにFAT16を採用しているため、ハードディスクに複数の領域を作成して使用する必要があります。1領域あたりの最大容量は2.1GBとなります。
Windows2000	ファイルシステムにFAT32を使用する場合、1領域あたりの最大容量は32.7GB(32700MB)となります。 ※使用するファイルシステムについて【P42、45】
WindowsNT4.0/3.51	OSのインストール時に起動用の領域に割り当てられる容量は、最大4.3GBです。その他の領域はファイルシステム【P48】にNTFSを使用することで、4.3GBを超える容量の領域を作成できます。
Windows3.1、DOS	ファイルシステムにFAT16を採用しているため、ハードディスクに複数の領域を作成して使用する必要があります。1領域あたりの最大容量は2.1GBとなります。 1つのドライブで使用できる容量は、すべての領域を合わせて8.4GBまでです（Disk Formatter使用時を除く）。

※ Windows95のバージョンは、「使用上の注意」【P29】を参照して確認してください。

※ FAT16とFAT32の違いについてはP33を参照してください。

WindowsMe/98/95でのフォーマット(本製品を起動用にしない場合)

本製品を起動用にしない場合は、付属CDに収録されている「Disk Formatter」を使用してフォーマットします。

⚠注意
- **Disk FormatterはWindowsMe/98/95用です。Windows2000/NT4.0/NT3.51/3.1、DOSでは使用できません。**
- **Disk Formatterは、ハードディスクを拡張MS-DOS領域としてフォーマットします。Disk Formatterでフォーマットした領域からはOSを起動できません。**

次の手順でDisk Formatterをインストールします。

パソコンのCD-ROMドライブに付属CDをセットする

▼

インストーラが起動したら、ボタンをクリックする

▼

画面の指示に従ってインストールする

以上でインストールは完了です。

[スタート]-[プログラム(P)]-[MELCO DISK FORMATTER]-[DISK FORMATTER]の順に選択すると、次の画面が表示されます。

⚠注意 **フォーマットするドライブを間違えないでください。**

① フォーマットするドライブを選択します。

② フォーマットする空き領域を選択します。

③ [ファイルシステム]と[サイズ]を設定します。

④ 必要に応じて[ボリュームラベル]を入力します。

⑤ [フォーマット(F)]ボタンをクリックします。

メモ **詳しいインストール手順や使用例は、別冊「付属CDの使いかた」を参照してください。**

⚠注意 **フォーマットが終わったらパソコンを再起動する必要があります。再起動後、本製品が使用可能になります。**

WindowsMe/98/95でのフォーマット（本製品を起動用にする場合）

本製品にWindowsMe/98/95をインストールする手順は、パソコンの環境によって異なります。パソコン本体やWindowsMe/98/95のマニュアルに記載された手順に従ってインストールしてください。ここでは、WindowsMe/98/95付属のFDISKを使って本製品に領域を作成してから、WindowsMe/98/95をインストールする手順を説明します。

⚠注意
- 事前に、パソコンおよびWindowsMe/98/95のマニュアルに記載されている、ハードディスクのフォーマットやWindowsMe/98/95のインストールに関する項目を、必ず参照してください。
- ここでは起動ディスクからFDISKを実行し、領域を作成する手順を説明します。パソコンまたはWindowsMe/98/95に付属する起動ディスクを用意してください。起動ディスクがない場合は、パソコンまたはWindowsMe/98/95のマニュアルを参照し、作成してください。
- 本製品にWindowsMe/98/95をインストールする場合、付属CDに収録されている「Disk Formatter」は使用できません。
- 既存の起動用ハードディスクの内容を本製品にコピーする場合は、付属CDに収録されている「DriveCopy」を使用してください。【別冊「付属CDの使いかた」参照】
- SCSIハードディスクからパソコンを起動できる状態にしておく必要があります（IDEハードディスクを取り外すなど）。詳しくは、パソコンメーカにお問い合わせください。
- SCSI BIOSを搭載していないSCSIインターフェース（ノート用PCカード、弊社製IFC-NSPなど）では、SCSIハードディスクを起動ドライブとして使用できません。

手順の概要

1 起動ディスクからパソコンを起動し、FDISKを起動する【P33】

▼

2 基本MS-DOS領域を任意の容量で作成する【P35】

▼

3 拡張MS-DOS領域を作成し、拡張MS-DOS領域内に論理MS-DOSドライブを作成する【P36】

▼

パソコンを再起動する

▼

WindowsMe/98/95をインストールする

1 FDISKの起動

1 **WindowsMe/98/95の起動ディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。**

2 **周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

MS-DOSプロンプトが起動します。

3 **FDISKと入力し、<Enter>キーを押します。**

WindowsMe、Windows98、Windows95（4.00.950 B/4.00.950 C）を使用しているとき

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されます。

```
512 MB以上のディスクがあります．このバージョンのWindowsでは，大容量のディスク
のサポートが強化され，ディスク領域を有効に使えるようになりました．2 GB以上の
ドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます．

重要 : 大容量ディスクのサポートを使用可能にして，このディスクに新しいドライブ
を作成した場合，ほかのオペレーティング システムを使ってこの新しいドライブに
アクセスすることはできません（Windows 95とWindows NTの特定のバージョン，
以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む）．また，FAT32ファイルシステム
用に設計されていないディスクユーティリティは，正常に動作しません．
このディスクでほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティ
にアクセスする必要がある場合，大容量ドライブのサポートは使用しないでください．

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)...........? [ ]
```

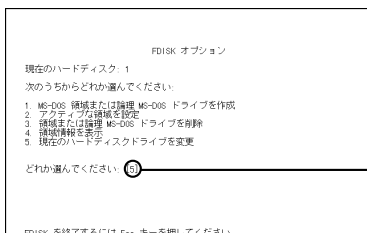
1つの領域で確保する容量が2.1GB以上のときは、<Y>キーを押してから<Enter>キーを押します。2.1GB以下のときは、 <N>キーを押してから<Enter>キーを押します。
FAT32に非対応のアプリケーションを使用するときは、<N>キーを押してください。

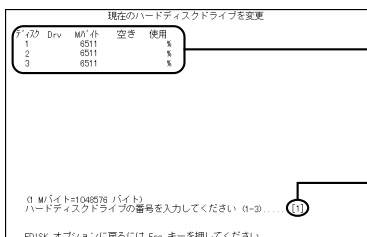
FAT16とFAT32の特徴

FAT16とFAT32には、それぞれ次のような長所と短所があります。

FAT16	長所	Windows95（4.00.950/4.00.950a）、WindowsNT、Windows3.1、DOSでも使用できる。
	短所	・1つの領域として確保できる容量は最大2047MBまで。 ・確保する容量が大きくなるとクラスタサイズも大きくなり、ディスクの使用が非効率的になる。
FAT32	長所	・クラスタサイズがFAT16よりも小さく、ディスクを効率的に使用できる。 ・1つの領域として2047MBを超える容量を確保できる。
	短所	・Windows95（4.00.950/4.00.950a）、WindowsNT、Windows3.1、DOSなどでは使用できない。 ・確保する領域が512MB以下のときは、FAT16としてフォーマットされる（FAT32としてはフォーマットできません）。

フォーマットするハードディスクの選択とハードディスク環境の確認

1

⚠注意 パソコンに接続しているハードディスクが本製品だけで、本製品を1台のハードディスクとして使う(ノーマルモード)場合は、[5.現在のハードディスクドライブを変更]は表示されません。そのまま領域を作成してください。【P35「基本MS-DOS領域の作成」】

2

① 現在パソコンに接続されているハードディスクの状態を確認します。 (*)

② 本製品のディスク番号を入力し、<Enter>キーを押します。
入力した番号のハードディスクが選択され、 領域作成などの操作対象ハードディスク (現在のハードディスク) になります。

* [ﾃﾞｨｽｸ] .... ハードディスクに割り当てられた番号
[Drv] ....ドライブ名(C:など。未フォーマットの場合は何も表示されません)
[Mﾊﾞｲﾄ] .... 領域の容量
[空き] ....ドライブの空き容量(未フォーマットの場合は何も表示されません)
[使用] ....ドライブの使用率(未フォーマットの場合は何も表示されません)

メモ この画面は、パソコンに接続されているハードディスクが本製品(3分割)のみの場合です。初めて本製品を使用する場合は、領域を作成するためにまず1を入力します。

⚠注意 本製品以外のハードディスクも接続している場合は、誤って他のハードディスクを選択しないように注意してください。

2 基本 MS-DOS 領域の作成

本製品を起動用にするときは、必ず基本MS-DOS領域を1つ作成してください。

本製品を起動用にしないときは、付属CDに収録されている「Disk Formatter」でフォーマットしてください。基本MS-DOS領域を作成する必要はありません。【P31】

⚠注意 基本MS-DOS領域から優先してドライブ名が割り当てられるため、起動ドライブ以外のハードディスクに基本MS-DOS領域を作成すると、今まで使用していたハードディスクのドライブ名が変更されることがあります。

1

2

```
MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
現在のハードディスク: 1
次のうちからどれか選んでください:
1. 基本 MS-DOS 領域を作成
2. 拡張 MS-DOS 領域を作成
3. 拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成
どれか選んでください: [1]
FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください.
```

1を入力し、 <Enter>キーを押します。

3

4

次のページへ続く

5

基本 MS-DOS 領域を作成

現在のハードディスク: 1

領域	状態	種類	ボリュームラベル	Mバイト	システム	使用
C: 1		PRI DOS		2047	UNKNOWN	31%

基本 MS-DOS 領域を作成しました. ドライブ名は変更または追加されました.

続けるには Esc キーを押してください _

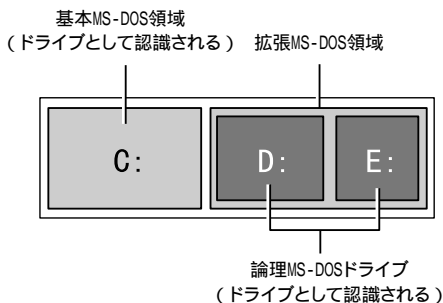
<Esc>キーを押します。

3 拡張 MS-DOS 領域の作成

基本MS-DOS領域を作成した後に空き領域が残っている場合は、残りの領域すべてを拡張MS-DOS領域として確保します。拡張MS-DOS領域作成後、論理MS-DOSドライブを拡張MS-DOS領域内に作成します。

ドライブ全体を基本MS-DOS領域として確保した場合は、拡張MS-DOS領域を作成する必要はありません。

領域の作成例）

基本MS-DOS領域
（ドライブとして認識される）
拡張MS-DOS領域
C:
D:
E:
論理MS-DOSドライブ
（ドライブとして認識される）

メモ 作成した論理MS-DOSドライブが、Windows上で確認できるドライブになります。

1

2

次のページへ続く

3

```
                    拡張 MS-DOS 領域の作成

現在のハードディスク: 1

領域     状態    種類    ボリュームラベル   Mバイト   システム   使用
 C: 1            PRI DOS                    2047    UNKNOWN    31%


ディスクの総容量は 6511 Mバイトです. (1 Mバイト=1048576 バイト)
領域に割り当て可能な最大領域は 4463 Mバイト( 69%)です.

領域のサイズを Mバイトか全体に対する割合で(%)入力してください.[4463]
拡張 MS-DOS 領域を作ります......................................

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください.
```

作成したい拡張MS-DOS領域のサイズをMBまたは%で入力し、 <Enter>キーを押します。
拡張MS-DOS領域が作成されます。

4

```
                    拡張 MS-DOS 領域の作成

現在のハードディスク: 1

領域     状態    種類    ボリュームラベル   Mバイト   システム   使用
 C: 1      A     PRI DOS                    2047    UNKNOWN    31%
    2            EXT DOS                    4463    UNKNOWN    69%




拡張 MS-DOS 領域を作成しました.

続けるには Esc キーを押してください.
```

<Esc>キーを押します。

5

作成したい論理MS-DOSドライブのサイズをMBまたは%で入力し、 <Enter>キーを押します。
論理MS-DOS領域が作成されます。

6 作成する領域の数だけ手順 5 を繰り返します。

7 すべての領域を作成したら、<Esc>キーを押します。

領域の削除

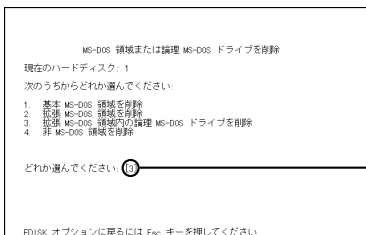
領域を作成し直すときは、既存の領域を削除します。
ここでは、拡張MS-DOS領域を削除する手順を説明します。

1 [4.領域情報を表示]を選択します。選択しているドライブの領域情報が表示されるので、削除しても構わない領域であることを確認します。確認したら、<Esc>キーを押します。

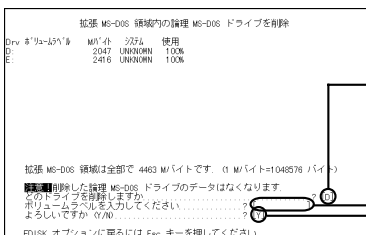
2 [3.領域または論理MS-DOSドライブを削除]を選択します。
基本MS-DOS領域を削除するときは[1.基本MS-DOS領域を削除]を選択し、表示されるメッセージに従って操作してください。

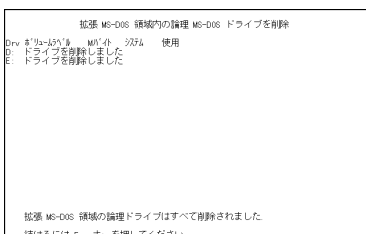
次のページへ続く

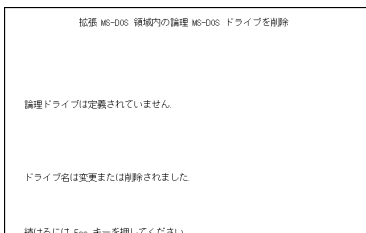
3

```
MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除

現在のハードディスク: 1

次のうちからどれか選んでください:

1.  基本 MS-DOS 領域を削除
2.  拡張 MS-DOS 領域を削除
3.  拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除
4.  非 MS-DOS 領域を削除

どれか選んでください: [3]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください
```

3を入力し、 <Enter>キーを押します。

「削除する論理ドライブはありません」と表示されたときは、手順7以降の操作を行って、拡張MS-DOS領域を削除してください。

4

ドライブが削除されます。
複数の論理MS-DOSドライブがあるときは、すべての論理ドライブに対してこの操作を行います。

5

<Esc>キーを押します。

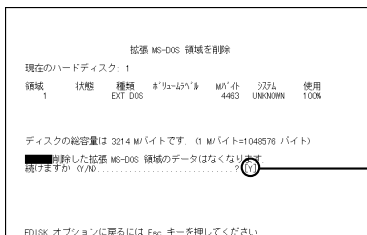
6

<Esc>キーを押します。

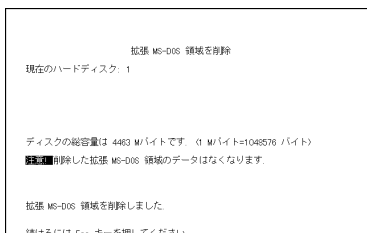
7 [3.領域または論理MS-DOSドライブを削除]を選択します。

8 [2.拡張MS-DOS領域を削除]を選択します。

次のページへ続く

9

```
拡張 MS-DOS 領域を削除

現在のハードディスク: 1

領域   状態   種類     ボリュームラベル   Mバイト   システム   使用
  1           EXT DOS                      4463    UNKNOWN    100%

ディスクの総容量は 3214 Mバイトです. (1 Mバイト=1048576 バイト)

注意! 削除した拡張 MS-DOS 領域のデータはなくなります.
続けますか (Y/N).............................? [Y]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください.
```

Yを入力し、 <Enter>キーを押します。

10

<Esc>キーを押します。

領域の作成が終わったら

FDISKを終了し、Windowsをインストールします。

メモ 本製品をスーパー・セレクト・ドライブ機能で分割した場合は、分割した各ドライブに領域を作成してください。

※ WindowsMe/98/95をインストールした後に、付属CDに収録されている「Disk Formatter」を使って領域を作成することもできます。【別冊「付属CDの使いかた」参照】

1 **すべての領域を作成できたら、<Esc>キーを押します。**

FDISK画面に戻ります。

2 **再度<Esc>キーを押します。**

FDISKが終了します。

3 **パソコンを再起動し、WindowsMe/98/95をインストールします。**

メモ WindowsMe/98/95のインストールについては、パソコンまたはWindowsMe/98/95のマニュアルを参照してください。

Windows2000でのフォーマット
（プライマリパーティションを作る場合）

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

2 **デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。**

3 **メニューが表示されたら［管理(G)］をクリックします。**

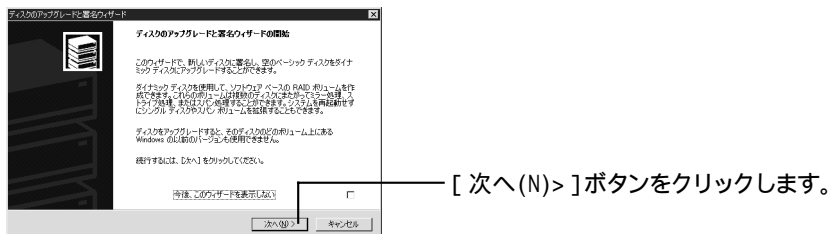
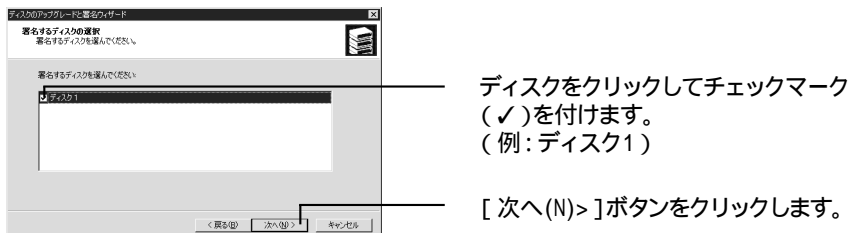
4

［ディスクの管理］をクリックします。

5 **Windows2000で初めて使用するハードディスクドライブの場合は、次の［ディスクのアップグレードと署名ウィザード］ウィンドウが表示されます。**

［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

6 **署名するディスクを選択します。**

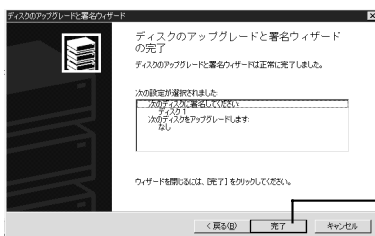
① ディスクをクリックしてチェックマーク（✓）を付けます。（例：ディスク1）

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

7 続いてアップグレードするディスクの選択画面が表示されます。

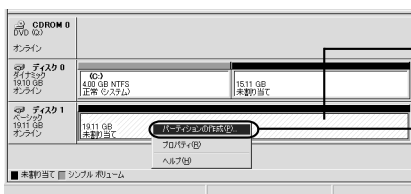
①ディスクをクリックしてチェックマーク（✓）を外します。（例：ディスク1）

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

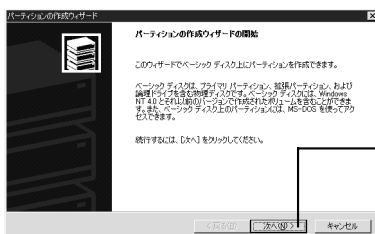
8

［完了］ ボタンをクリックします。

9

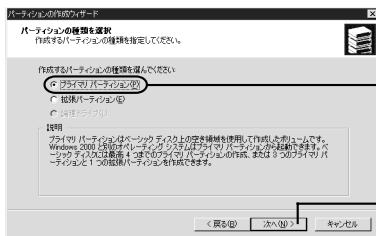
未割り当て領域が作成されます。

10

① 未割り当て領域にマウスのカーソルを合わせ、 右ボタンをクリックします。

② メニューが表示されたら［パーティションの作成(P)］をクリックします。

11

［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

次のページへ続く

12

① ［プライマリパーティション(P)］をクリックして、チェックマーク（•）を付けます。

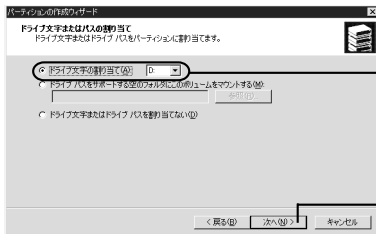
② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

13

① ［使用するディスク領域(A)］でサイズを指定します。

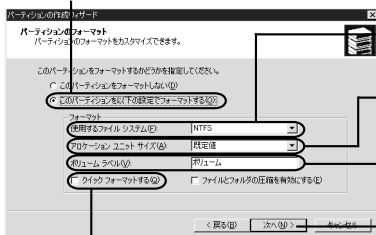
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

14

① ［ドライブ文字の割り当て(A)］で割り当てるドライブ名を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

15 **フォーマット方法などを設定します。**

① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O)］をクリックして、チェックマーク（•）を付けます。

必要に応じて［使用するファイルシステム(F)］を変更します。（※）

［アロケーションユニットサイズ(A)］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

必要に応じて［ボリュームラベル(V)］を入力します。

② 各項目を設定したら、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

※ Windows2000だけで本製品を使用する場合は、［NTFS］を選択してください。
マルチブート環境などで他のOSからアクセスするパーティションの場合は、［FAT］を選択してください。
ファイルシステムに関する詳細は、Windows2000のヘルプを参照してください。

次のページへ続く

16

［完了］ボタンをクリックします。

フォーマットが始まり、進行状態が%表示されます。

メモ
- クイックフォーマット実行時は、%表示はされません。
- フォーマットを中止する場合は、右クリックして表示されたメニューで［フォーマットの中止(F)］をクリックします。

17

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

本製品を初めてフォーマットする場合

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示されることがあります。

その場合は［OK］ボタンをクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

① 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット(F)］を選択します。

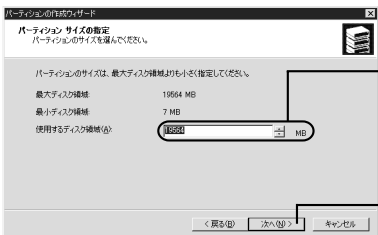
② 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、［次へ (N)>］ボタンをクリックします。
※ ［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク(✓)を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

③ 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でプライマリパーティションのフォーマットは完了です。

Windows2000でのフォーマット
（拡張パーティション／論理ドライブを作る場合）

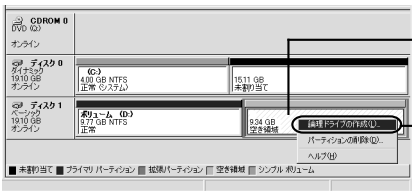
1 「プライマリパーティションを作る場合」【P40】の手順1～11の操作を行います。

2

① ［拡張パーティション(E)］をクリックして、チェックマーク（・）を付けます。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

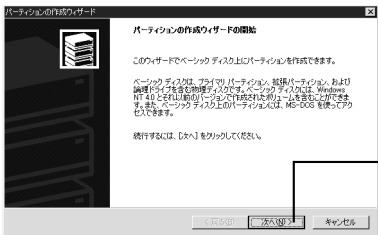
3

① ［使用するディスク領域(A)］でサイズを指定します。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

4

［完了］ボタンをクリックします。

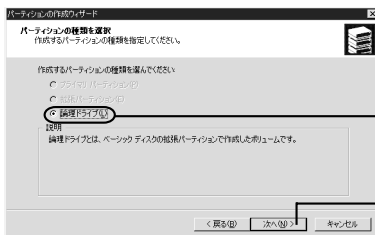
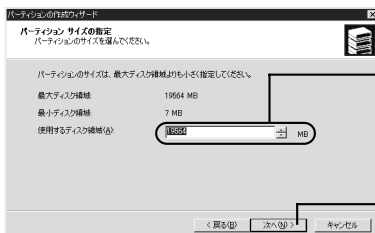
5

① 空き領域にマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。

② メニューが表示されたら［論理ドライブの作成(L)］をクリックします。

6

［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

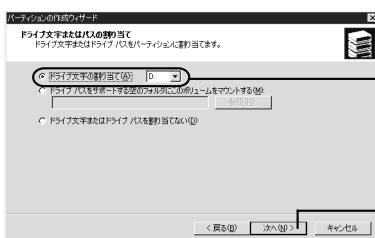
7

① ［論理ドライブ(L)］が選択されていることを確認します。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

8

① ［使用するディスク領域(A)］でサイズを指定します。

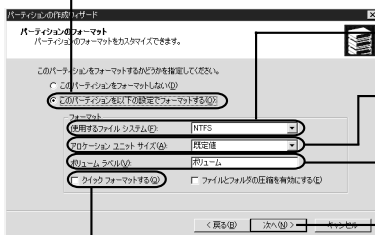
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

9

① ［ドライブ文字の割り当て(A)］で割り当てるドライブ名を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

10 フォーマット方法などを設定します。

① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O)］をクリックして、チェックマーク（・）を付けます。

必要に応じて［使用するファイルシステム(F)］を変更します。（※）

［アロケーションユニットサイズ(A)］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

必要に応じて［ボリュームラベル(V)］を入力します。

② 各項目を設定したら、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

※ Windows2000だけで使用するパーティションの場合は、[NTFS]を使用してください。
マルチブート環境などで他のOSからアクセスするパーティションの場合は、[FAT]を選択してください。ファイルシステムに関する詳細は、Windows2000のヘルプを参照してください。

次のページへ続く

11

［完了］ボタンをクリックします。

フォーマットが始まり、進行状態が%表示されます。

メモ ・クイックフォーマット実行時は、%表示はされません。
・フォーマットを中止する場合は、右クリックして表示されたメニューで［フォーマットの中止（F）］をクリックします。

12

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

本製品を初めてフォーマットする場合

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示されることがあります。

その場合は［OK］ボタンをクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

① 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット(F)］を選択します。

② 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

※ ［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

③ 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上で拡張パーティション/論理ドライブのフォーマットは完了です。

メモ 論理ドライブを複数作成する場合は、手順 8 でサイズを指定し、以下手順 12 までを作成する数だけ繰り返します。

WindowsNT4.0/3.51でのフォーマット

WindowsNT4.0/3.51を使用しているときのフォーマット手順を説明します。

⚠注意 **フォーマットするときは、必ずOSのマニュアルを参照してください。**

1 **周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにし、WindowsNT4.0/3.51を起動します。**

2 **[ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[管理ﾂｰﾙ(共通)]－[ﾃﾞｨｽｸｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰﾀ]を選択します。**

WindowsNT3.51の場合は、[管理ツール]グループの[ディスクアドミニストレータ]をダブルクリックしてください。

⚠注意 **表示されたドライブ構成を把握してから作業してください。誤って他のハードディスクをフォーマットしないように注意してください。**

本製品を新たに増設した場合

「ｼｽﾃﾑ構成を更新します。」というメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

3 **[ﾃﾞｨｽｸｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰﾀ]が起動します。本製品のドライブをクリックします。**

4 **パーティションを作成します。**

一部のSCSIカードでは、複数の領域を確保できない場合があります。その場合は、[拡張ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝの作成]を選択してください。

プライマリパーティションを作成する場合

本製品を起動用として使用するときは、必ずプライマリパーティションを作成してください。本製品を起動用にしないときは、拡張パーティションだけを作成してください。

⚠注意 **プライマリパーティションから優先してドライブ名が割り当てられるため、起動ドライブ以外のハードディスクにプライマリパーティションを作成すると、今まで使用していたハードディスクのドライブ名が変更されることがあります。**

1 [ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(P)]－[作成(C)]を選択します。

2 任意のパーティションサイズを入力して[OK]ボタンをクリックします。

拡張パーティションを作成する場合

本製品を起動用として1ドライブだけで使用する場合は、拡張パーティションを作成する必要はありません。

1 [ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(P)]－[拡張ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝの作成(E)]を選択します。

2 パーティションのサイズを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

次のページへ続く

3 作成された空き領域を選択し、[ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(P)] − [作成(C)]を選択します。

4 任意のパーティションサイズを入力して [OK] ボタンをクリックします。

5 メニューバーから [ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(P)] − [今すぐ変更を反映(O)] を選択します。

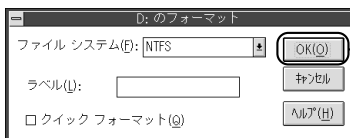
WindowsNT3.51の場合は[パーティション(P)] − [直ちに変更を反映(O)]を選択してください。

6 「ﾃﾞｨｽｸ構成を変更しました。変更結果を保存しますか?」というメッセージが表示されたら [はい(Y)] ボタンをクリックします。

7 「ﾃﾞｨｽｸは正常に更新されました。」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

8 フォーマットするパーティションを選択した後、メニューバーから [ﾂｰﾙ(T)] − [ﾌｫｰﾏｯﾄ(F)] を選択します。

9 各項目を設定し、[開始(S)] ボタン(WindowsNT3.51の場合は [OK] ボタン)をクリックします。

WindowsNT4.0/3.51だけで本製品を使用するときは、[NTFS]を選択してください。
WindowsNT4.0/3.51以外のOSにも認識させたいときは、[FAT]を選択してください。

10 「ﾌｫｰﾏｯﾄが完了しました。」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

WindowsNT3.51の場合は[フォーマット完了]ダイアログボックスが表示されます。

以上でWindowsNT4.0/3.51でのフォーマットは終了です。

正常にフォーマットされると、本製品がドライブとして認識されます。

- WindowsNT4.0の場合 .... 作成した領域が、[ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]に新しいドライブとして追加されています。
- WindowsNT3.51の場合 .... 作成した領域が、[ファイルマネージャ]に新しいドライブとして追加されています。

Windows3.1、DOSでのフォーマット

Windows3.1、DOSに付属のフォーマッタを使用したフォーマット手順の概略を説明します。

⚠注意 フォーマットする際は必ずOSのマニュアルを参照してください。

フォーマットの前に

誤って他のハードディスクをフォーマットしないように、次の方法で事前に現在のドライブ構成を把握しておいてください。

- Windows3.1 .... ［ファイルマネージャ］で表示されているドライブアイコンで知ることができます。
- DOS .... DIRコマンドでアクセス可能なドライブから知ることができます

※ 接続した本製品はフォーマット後に認識されます。フォーマット前は本製品は認識されていません。

フォーマット手順

1 周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにし、DOSを起動します。

DOSのプロンプトが表示されます。

2 FDISKと入力し、<Enter>キーを押します。

3 ［5.現在のハードディスクドライブを変更］を選択し、本製品のディスク番号を入力します。

例） 本製品を2台目のドライブとして接続しているときは、ディスク番号を2に変更します。

⚠注意 誤って他のハードディスクをフォーマットしないよう注意してください。

4 ［1.MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成］を選択します。

5 目的に応じて基本MS-DOS領域または拡張MS-DOS領域を作成します。

基本MS-DOS領域を作成する場合

本製品を起動用にするときは、必ず基本MS-DOS領域を作成してください。
本製品を起動用にしないときは拡張MS-DOS領域だけを作成してください。基本MS-DOS領域を作成する必要はありません。【P50】

⚠注意 基本MS-DOS領域から優先してドライブ名が割り当てられるため、起動ドライブ以外のハードディスクに基本MS-DOS領域を作成すると、今まで使用していたハードディスクのドライブ名が変更されることがあります。

1 ［1.基本MS-DOS領域を作成］を選択します。

2 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか」というメッセージが表示されます。<Y>キーを押して<Enter>キーを押します。

3 「基本MS-DOS領域を作成しました。」というメッセージが表示されます。<Esc>キーを押します。FDISKの初期画面に戻ります。

4 再度<Esc>キーを押してFDISKを終了します。

次のページへ続く

拡張MS-DOS領域を作成する場合

本製品を起動ドライブとして1ドライブだけで使用する場合は、拡張MS-DOS領域を作成する必要はありません。

1 [2.拡張MS-DOS領域を作成]を選択します。

2 拡張MS-DOS領域に割り当て可能な容量がMB数で表示されます。<Enter>キーを押します。

3 「拡張MS-DOS領域を作成しました」というメッセージが表示されます。<Esc>キーを押します。

4 [拡張MS-DOS領域内に論理MS-DOSドライブを作成] 画面が表示されます。
論理MS-DOSドライブの容量を入力して<Enter>キーを押します。
拡張MS-DOS領域の空き容量がなくなるまで論理MS-DOSドライブを作成します。

5 論理MS-DOSドライブの作成が終了したら、＜Esc＞キーを押してFDISKを終了します。

6 画面の指示に従ってパソコンを再起動します。

7 DOSを起動し、FORMAT D:と入力し、<Enter>キーを押します。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名を入力します。本書では、例としてドライブ名「D」を記載しています。

⚠注意 誤って他のハードディスクをフォーマットしないように注意してください。

8 「注意! ドライブD:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」というメッセージが表示されます。フォーマットするときは、<Y>キーを押してから<Enter>キーを押します。

9 フォーマットが終了すると、ボリュームラベルの入力を要求するメッセージが表示されます。任意のボリュームラベルを入力します。

以上で本製品のフォーマットは終了です。

正常にフォーマットされると、本製品がドライブとして認識されます。

- Windows3.1 .... 作成した領域が、[ファイルマネージャ] に新しいドライブとして追加されています。
- DOS .... DIRコマンドで作成した領域(ドライブ)の情報を確認できるようになります。